

(5) 2009年(平成21年)7月29日(水曜日)



ぶしぎを追って

325

— 研究室の扉を開く —

竜巻の風

竜巻という言葉はご存じだと思いますが、目撃されたことはありませんか？

写真上は1999年に愛知県豊橋市で発生した竜巻で、真っ黒い雲が下方に突き出して地面に接しています。下向きの円錐形の渦巻きを真横から見ていると考えてください。このほか象の鼻のように細長い筒状のものもあり、竜巻に伴って発生するこれらの雲を漏斗雲と呼んでいます。

も台風と同じように左巻きが多いですが、まれに右巻きの竜巻が発生することがあります。台風のよくな巨大な渦

右巻き？左巻き？

また竜巻は回転しながら移動するため、その被害は帯状に分布し、被害の境界線が明確なものも特徴です。屋根が吹き飛ばされた住宅の隣の住宅には、目立った被害がないということがあります。

竜巻によってさまざまに物が巻き上げられ、遠くまで飛ばされます。重

さが1トン以上あるような乗用車が10メートル以上も飛ばされたりすることがあります。2006年に北海道佐呂間町で発生した竜巻では、重さ13キロもあるような合板が約14キロメートル先のサロマ湖まで飛ばされたことがありました。また今年7月19日に岡山県美作市で発生した突風被害でも、瓦や

木切れ等の飛散物で道路がいっぱいになり、軽乗用車が約100メートルも飛ばされました。建築研究所では、建築物の強風被害を軽減する目的で、竜巻や台風による建築物の被害が発生したときに、現地に行つて被害状況や被害原因の調査を行っています。(建築研究所 構造研究グループ 奥田泰雄)

竜巻は台風と同じように渦巻き状の風です。台風の渦巻きは左巻き(時計と反対方向)ですが、それでは竜巻の渦巻きも左巻きでしょうか？

台風に比べて非常に小さな、その竜巻の渦も、中心付近の風はともかく、風速は推定で毎秒50〜100メートルくらいあると言われています。



1999年の豊橋竜巻(豊橋市中消防署撮影)



今年7月19日の突風で屋根の飛ばされた住宅(美作市撮影)